

ウォーターセーフティーキャンペーン

あなたは知らないうちに
こんな危ないことをしていませんか？

海で

夏になると、海や川に行ったり、水遊びをしたりすることが多くなります。しかし水の中は、陸上とは違って、ちょっとした不注意でケガをしたり、いのちを失ったりすることがあります。この絵のお友だちはどうして危ないのでしょうか？みんなで考えてみよう。



海上における事件・事故の
緊急通報用電話番号は
「118番」(海上保安庁)

④ 河口のそばで遊ぶ
※5ページの川での危ない場所や行為をチェック

離岸流
岸から沖に向かって流れる水の流れ

逆潜流
岸によせてきた波が海底の傾斜に沿って沖に戻る水の流れ

潮汐
海面が昇降する現象

自然災害
(台風、地震、雷など)の可能性があるときには、水辺には近づかないようにしましょう。
注意報や警報が出ていないか、その地域の避難場所はどこかなどを確認してください。

⑤ つきそいの大人の人から遠くはなれたところへ行く

川で

遊泳禁止 No Swimming
遊泳禁止場所、遊泳禁止発令時は泳がない

① 上流で局地的豪雨や雷が鳴っている時に遊ぶ

② 川治いの草がおいけているところ遊ぶ

③ 川に流れてしまった道具を追いかける

④ 大きな岩や石の上に乗る、付近で遊ぶ、素足で遊ぶ

⑤ 中州や急流部、川底が見えない場所に入って遊ぶ

⑥ 消波コンクリートブロックなどの人工物のそばで遊ぶ

増水 天候や放流による急な濁りや枝などが流出することで、浸水や水没する現象

反転流 岩や障害物の下流側などで発生し、渦のような反対方向に流れる現象

川に倒れ込んだ木 大雨や強風などにより流木などが倒れて危険

健康チェック項目

- 熱はないか
- 風邪をひいていないか
- 疲れている様子はないか
- 食欲はあるか
- 顔色はよいか
- 目や耳の病気はないか
- 寝不足ではないか

楽しい水遊びが原因で病気になるかもしれないよう、健康チェックを済ませてから水遊びをする習慣をつけましょう。

おぼれている人を見つけたらどうするの？

子どもたちだけでは助けられない、水の中に入らない。

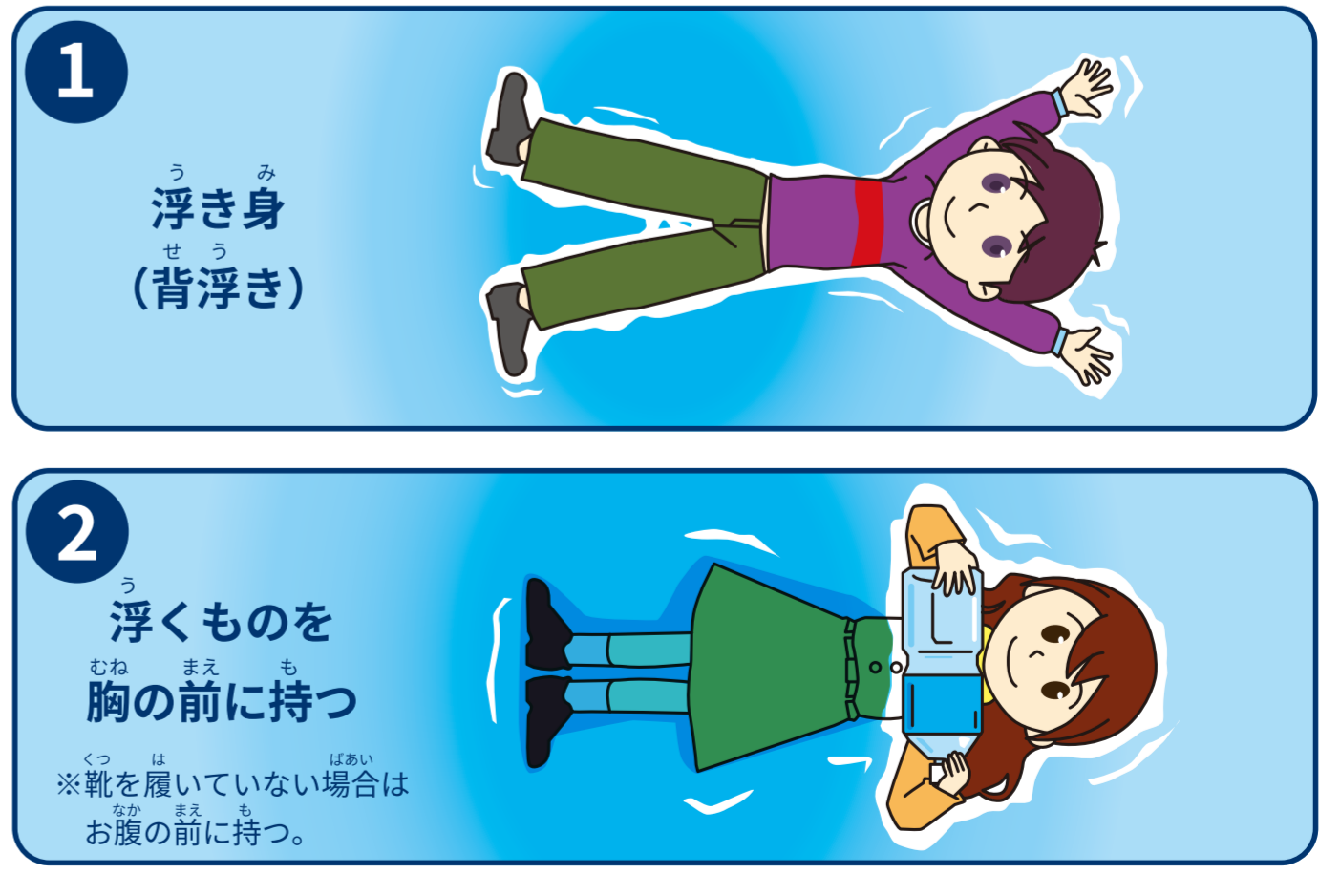
「おぼれている人」や「誤って水に落ちてしまった人」を見つけたときの対処法

- 119番へ連絡しよう**
連絡できたら指示を聞く。
連絡できなければ、連絡できる人を探しに行く。
※携帯電話を持っている人に知らせましょう。
- 浮く物を投げる**
浮く物がある場合は、お腹を目がけて投げ、つかまるように指示する。

水に浮く物リスト ペットボトル・ランドセル・くつ・ボール・ビニール袋 ◎他に何があるのか考えてみましょう。

水に落ちたら落ち着いて浮き身の姿勢をとろう

水の事故の多くは岸から3m以内でおきています。それは誤って水に落ちたことによりパニックになってしまい、岸に戻りたくても戻れないからです。誤って水の中に落ちてしまったら、あわてて岸に戻ろうとするのではなく、まず落ち着いて浮き身(背浮き)の姿勢をとりましょう。衣服や靴は着た状態の方が水に浮きやすい為、脱がないようにしましょう。



- 浮き身を上手につくるポイント**
- おなかを上げる
 - 手足をのばす
 - 頭のうしろを水につける
 - 全身の力を抜く



ハンドブックを携帯していざというときに備えましょう!



ウォーターセーフティーキャンペーンに関する情報はこちらから
※ウォーターセーフティクイズの答えもチェック!